



水とくらしのグッド・パートナー

株式  
会社 **小島製作所**

**トコトン  
小島流**

C O M P A N Y   I N F O R M A T I O N

企業理念

Philosophy

# 当社に関わる 全ての人を幸せにする

Kojimaは、社員とその家族・仕入先とその家族・お客様・地域や株主の皆様など  
当社に関わる全ての人への感謝を胸に、  
その幸せを目指していきます。



経営理念・方針

## Vision

### 「最適な水回り環境で快適な暮らしを支えます」

快適な生活を送るために不可欠な給排水設備。

特に排水通気設備は、高層化の進む現代社会に欠かすことのできない「生活インフラ」の一つ。

排水に問題が発生しただけで、暮らしに必要な水が使用できなくなるからです。

Kojimalは、信頼性の高い排水性能の提供はもとより、

排水管を通して蔓延するウィルスの感染を防ぐ快適・安心な排水通気設備など、

常に住環境を見つめた提案をまいります。

## Mission

### 「確かな技術で排水通気性能を担保します」

排水立て管には各階からの排水が接続され、様々な水回りの環境を支えています。

だからこそ、普段は目にする事のない排水設備には高い信頼性が求められます。

Kojimalは、「確かな技術」で排水通気性能の向上・進化に力を尽くします。

## Value



Kojimalは、少数精鋭の技術集団です。

トコトン実験を重ね、トコトン排水技術を研究し、水の流れと信頼をカタチにしていきます。



# 次の100年に向けて じこん 「而今」

## 只今を生きて、その先へ——

令和とともに創業101年目がスタートしました。大正8年（1919年）の創業以来、建物の給排水設備に供する製品を通して、「世のため、人のために」を経営理念に掲げ、全力で貫き通してまいりました。市場ニーズの変化とともに提供してきた製品も、変化してきましたが、いずれの製品も快適な住生活には欠かせない排水器材ばかりであります。

振り返ってみますと100年の歩みも一瞬、一瞬の積み重ねでありました。激しく変化する世の中の潮目を感じながら、「今」を真剣に生きることこそが次の100年へのパスポートとなります。過ぎ去った過去は戻りませんし、先の不安を考える価値はありません。一人一人に与えられた課題を、「今」懸命に取り組むことが大切なことだと思います。

社員とその家族、仕入先とその家族、顧客、地域住民、そして株主、当社に関わる全ての人を幸せにすることを目的に、次の100年に向けて歩み始めます。



 株式会社 小島製作所

代表取締役社長

小島久典



本 社



Kojima 物流センター



MCC首都圏コアセンター

## 会社概要

|               |                                                                           |                           |
|---------------|---------------------------------------------------------------------------|---------------------------|
| 創 業           | 大正 8 年 4 月 1 日                                                            |                           |
| 設 立           | 昭和 27 年 12 月 27 日                                                         |                           |
| 資本金           | 4,500 万円                                                                  |                           |
| 従 業 員 数       | 55 名 (2024 年 4 月 1 日現在)                                                   |                           |
| 代 表 取 締 役 社 長 | 小島 久典                                                                     |                           |
| 代 表 取 締 役 会 長 | 小島 誠造                                                                     |                           |
| 主 要 株 主       | 名古屋中小企業投資育成 (株)                                                           |                           |
| 本 社           | 〒454-0027 名古屋市中川区広川町 5-1<br>TEL 052-361-6551 FAX 052-361-6556             |                           |
| MCC首都圏 コアセンター | 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町 7-17 朝日ビル 4F<br>TEL 03-5652-6356 FAX 03-5652-6355 |                           |
| Kojima 物流センター | 〒511-0923 三重県桑名市桑部 1056-5<br>TEL 0594-27-6771 FAX 0594-27-6772            |                           |
| 事 業 内 容       | 建築設備用排水器材・システムジョイントの製造販売                                                  |                           |
| 売上高           | 17 億円 (2023 年実績)                                                          |                           |
| 取引銀行          | 名古屋銀行 柳橋支店                                                                |                           |
|               | 商工組合中央金庫 名古屋支店                                                            |                           |
|               | 日本政策金融公庫                                                                  |                           |
|               | 三菱 UFJ 銀行 新名古屋駅前支店                                                        |                           |
| 加盟団体          | 社団法人空調・衛生工学会                                                              | マンションリフォーム技術協会            |
|               | 社団法人日本建築学会                                                                | マンション設備リニューアル&管理技術研究会     |
|               | 単管式排水システム協会                                                               | 愛知県管工機材商業協同組合他 各都道府県単位の組合 |
|               | 日本鉄鉄ふた・排水器具工業会                                                            | 愛知県管工事業協同組合他 各都道府県単位の組合   |
|               | 給排水設備研究会                                                                  |                           |





## 沿革

|         |                                                                                       |                  |                                                                                                                                           |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------------|------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 大正 8年   | 創業<br>名古屋市中区で水道衛生器具の製造開始                                                              | 平成 20年           | 代表取締役任<br>排水金物のステンレス化に着手                                                                                                                  |
| 昭和 21年  | 名古屋市中川区に工場を復興、製造を再開                                                                   | 平成 21年           | 愛知発明表彰 奨励賞受賞<br>排水立て管更新工法 (KJ・US 工法) の開発<br>(独)UR 都市機構「ヌーベル赤羽台」で<br>KJ・US 工法が採用<br>ISO9001:2008 改定登録                                      |
| 昭和 27年  | 資本金 80 万円にて (株) 小島製作所に改組                                                              | 平成 22年           | 低振動低騒音の排水管改修工法 (ジャッキアップ工法) の開発<br>直販サイト /haisui.com 開設<br>CCI ㈱とアライアンスを組み、モエナイン排水システムが<br>国土交通大臣認定、消防評定を取得<br>中部発明表彰 奨励賞受賞                |
| 昭和 32年  | 建築衛生設備排水トラップ類・マンホールふた類の<br>研究生産開始                                                     | 平成 23年           | Kojima 物流センターにモエナイン「シュリンクマシーン」を導入<br>東京スカイツリーに HQ ループ単管式が採用<br>2階建て賃貸住宅用多口管継手 (DAT 継手) 上市                                                 |
| 昭和 35年  | 扶桑工場 (鑄造工場) 建設                                                                        | 平成 24年           | 中部地方発明表彰 発明奨励賞受賞<br>S 型モエナイン商品化                                                                                                           |
| 昭和 41年  | 建設大臣官房長官官舎繕部設備課 (建設省本省) の<br>製品指定を受ける                                                 | 平成 25年           | スラブを “はつらず” 配管を引き抜く [PJ350] 上市<br>愛知発明表彰奨励賞受賞 (5 年連続)<br>中部地方発明表彰 発明奨励賞受賞 (5 年連続)                                                         |
| 昭和 44年  | 総合社屋完成 創業 50 周年                                                                       | 平成 26年           | 引き抜いた孔にスッポリ入る排水継手<br>「-1 シリーズ」上市<br>[PJ350] + 「-1 シリーズ」=「JUST 工法」の提案<br>愛知発明表彰 奨励賞受賞 (6 年連続)                                              |
| 昭和 47年  | 通産省工業技術院委託事業に関わる搬送ユニット試作<br>キャッチジョイント (KJ7) 商品化                                       | 平成 27年           | 最下階合流用通気継手「CP-SS」[HQ-SS] 上市<br>中部地方発明表彰 奨励賞受賞                                                                                             |
| 昭和 48年  | 排水通気調和管継手 (KJ8) 商品化                                                                   | 平成 28年           | 前澤化成工業㈱とアライアンスを組み、<br>樹脂製排水用特殊継手「ビニコア」を上市<br>「JUST 工法」の発明で愛知発明表彰並びに<br>中部地方発明表彰 奨励賞受賞                                                     |
| 昭和 52年  | コア排水システム性能実験タワー完成                                                                     | 平成 29年           | 管引き抜き機 (特許第 6045821 号) で<br>中部地方発明表彰 発明奨励賞受賞<br>ISO9001:2015 改定登録                                                                         |
| 昭和 56年  | 掃兼ドレン (SO シリーズ) 商品化<br>排水実験タワー改修                                                      | 平成 30年           | ビニコア (特許第 6147690 号) で愛知発明表彰<br>発明奨励賞受賞<br>モエナイン組立の生産性向上のため、<br>Kojima 物流センターにシュリンクトンネルを設備<br>ビニコア (特許第 6147690 号) で<br>中部地方発明表彰 名古屋市長賞受賞 |
| 昭和 57年  | 名古屋中小企業投資育成 (株) の投資を受け、<br>資本金 4500 万円に増資                                             | 平成 31年<br>(令和元年) | 創業 100 周年<br>最下階合流用脚部継手 (特許第 6121107 号) で<br>中部地方発明表彰 発明奨励賞受賞                                                                             |
| 昭和 59年  | 横型マシニングセンタ導入                                                                          | 令和 2 年           | 水回り製品の開発に挑んだ KOJIMA100 年の歴史を発行<br>排水用特殊継手の防音耐火カバー (特許第 6576713 号) で愛<br>知発明表彰 愛知発明賞受賞<br>中部地方発明表彰 発明奨励賞受賞<br>電子式満空試験機スマホアプリ型を開発           |
| 昭和 62年  | アムスラー式圧縮試験機導入<br>CAD 導入                                                               | 令和 3 年           | 樹脂製排水用特殊継手 (超高層タイプおよび二段口用) を上市                                                                                                            |
| 平成 2 年  | 超高層用「HP ジョイント」<br>排水実験タワー改修 (9 階建て)                                                   | 令和 4 年           | 最下階合流用排水特殊継手 (特許第 6721305 号) で<br>中部地方発明表彰 発明奨励賞受賞                                                                                        |
| 平成 3 年  | 住・都公団 100m 実験タワーで、<br>HP ジョイントの性能試験実施                                                 | 令和 5 年           | 卵殻掃除口とその敷設方法 (特許第 5635317 号) で<br>中部地方発明表彰 発明奨励賞受賞                                                                                        |
| 平成 4 年  | CI 導入「New KJ8」商品化                                                                     | 令和 6 年           | 防音・耐火性能を備えた樹脂製排水特殊継手 (特許第 6576711 号) で<br>愛知発明表彰 発明奨励賞受賞                                                                                  |
| 平成 7 年  | 情報管理システムの社内 LAN 構築                                                                    |                  |                                                                                                                                           |
| 平成 8 年  | 特許管理システムの社内 LAN 構築                                                                    |                  |                                                                                                                                           |
| 平成 9 年  | 中部発明表彰で名古屋商工会議所会頭賞受賞                                                                  |                  |                                                                                                                                           |
| 平成 10 年 | ISO9001 認証取得<br>コンパクト&パワフル「CP ジョイント」商品化                                               |                  |                                                                                                                                           |
| 平成 11 年 | 愛知発明表彰で愛知発明賞を 4 年連続受賞<br>遮音性に応える「KST ジョイント」商品化                                        |                  |                                                                                                                                           |
| 平成 12 年 | 中部地方発明表彰 奨励賞受賞<br>ホームページ開設                                                            |                  |                                                                                                                                           |
| 平成 13 年 | 「KST ジョイント 2 方向型」商品化<br>住都公団 3 社と「排水ヘッダー」を共同開発<br>維持管理対策等級 3 に応える排水管継手<br>「そうじし〜な」商品化 |                  |                                                                                                                                           |
| 平成 14 年 | 鉄建建設㈱と満空試験治具の共同開発に着手<br>MCC 首都圏コアセンターを設置<br>ISO9001:2000 改定登録                         |                  |                                                                                                                                           |
| 平成 15 年 | リフォーム用単管式継手 DST シリーズ<br>「とりかえ〜な」商品化<br>三井住友建設㈱と床スラブ貫通部の振動に関する<br>共同開発開始               |                  |                                                                                                                                           |
| 平成 16 年 | 排水管更新工事の施工性に関する研究 (スラブ上面接合) に着手<br>浴室排水トラップの更新工法の研究に着手                                |                  |                                                                                                                                           |
| 平成 17 年 | スラブ上面接合方法が特許査定される<br>超高層住宅用 HQ ジョイント商品化<br>中部地方発明表彰奨励賞受賞                              |                  |                                                                                                                                           |
| 平成 18 年 | FRP 防水層用排水トラップ商品化<br>生産効率アップのため㈱長谷川鑄工所との協業化実現<br>集合住宅洗浄管システム提案<br>中部地方発明表彰奨励賞受賞       |                  |                                                                                                                                           |
| 平成 19 年 | Kojima 物流センター竣工・稼動<br>HQ ジョイント組立検査ライン導入<br>中部地方発明表彰 奨励賞受賞                             |                  |                                                                                                                                           |



# 100年の 歴史から生まれた 排水設備機器

私たち小島製作所は、水回り製品のメーカーとして100年に渡り、建築設備用排水器材の製造販売を手がけながら、快適な住環境作りの一翼を担ってきました。

創業当初の水栓鑄造に始まり、排水器具・マンホールの鑄造、鑄鉄製排水用特殊継手（コアジョイント）の開発、そして近年の樹脂製継手（ビニコア）への展開と、時代とともに事業内容を変化させながら、広く社会の水回り環境をサポートし続けています。

排水用特殊継手

# CORE



# 排水設備機器の紹介



小島製作所 排水設備機器の変遷

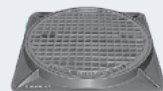
1919

上給水栓



排水トラップ  
排水金具

1957



マンホール



## 衛生環境を支え続ける 排水器具・マンホール

排水トラップや床上掃除口、マンホールなどの排水器具は、日常生活では意識されませんが詰まりや異臭を抑え、排水システムの衛生環境を守る大切な器材です。

1957年から研究生産を開始、1966年には建設大臣官房官庁営繕部設備課(現:国土交通省)の全国指定を受け、今日まで一貫して安心してご使用いただける排水器材を提供しています。

1972

高度経済成長時代  
集合住宅ラッシュ

これまでの継手を一新  
画期的な排水継手 KJ8 を開発



KJ7

扁球体多口管継手



KJ8 Series

通気管を不要にし、  
管スペースの  
大幅削減を達成

1990

HP Series

超高層60階ビルに  
対応できる  
高能力を保有



高層マンション  
の登場

パワフル流量で  
都市生活を支える



1998

環境に優しい  
節水トイレ登場

住設備の進化に合わせ  
新継手を開発



CP Series

小型・省スペースで  
高能力

2010

モエナイン  
S Series

耐火・防音・  
防振部材を  
工場で一体化した  
消防評定品。



阪神・淡路大震災等  
災害を経て  
安心・安全な  
住宅ニーズが高まる

2019

ビニコア  
Series

コアジョイントの  
DNAを継承した  
硬質塩ビ製継手。



サステナビリティの  
観点から新素材開発が  
加速

効率性・環境性と  
長寿命を兼ね備えた  
樹脂製の継手を開発

## 排水設備にパラダイムシフトを起こした 排水用特殊継手を商品化

1973年に商品化した「排水通気調和管継手—CORE排水システム」は、それまで通気管を併設した2管式が一般的な中で、1本のパイプで排水と通気を担う単管式にしたことで配管スペースの大幅な削減を実現した、当時としては画期的な製品。ジョイント製品として初めて特許を取得するとともに、単管式排水システムは40年経った今もなお、業界のスタンダードとして採用され続けています。

## IoT で漏水をサステナブルに防ぐ

漏れ検査の満水試験では、使い捨ての水が必要です。小島製作所は水資源を無駄にしないサステナビリティな空気圧による試験を推奨しており、満空試験機の開発を進めています。スマートフォンの満水アプリでデータ収集、ラベル印刷、現場撮影、管理サーバーよりデータ確認、報告書作成が可能となります。



# 634<sub>m</sub>の

## 東京スカイツリーに 採用されています

2011年に開業した世界一の自立式電波塔  
である東京スカイツリーには、  
小島製作所の「HPループ単管式」が  
採用、納入されています。  
超高層建物の排水設備では  
定評のある小島製作所の  
品質・性能・技術力が、  
認められました。



## 納入実績の紹介



高層化・ハイクワ化を推進し、安全性・快適性を追求する建築設備環境、  
その中で水回り設備も常に進化を続けています。

小島製作所は、柔軟な発想による製品開発力・実験データに裏打ちされた技術力で  
排水業界に新たな提案を続けてまいります。

### パワフル・コンパクト・長寿命を追求 単管式排水システムCORE

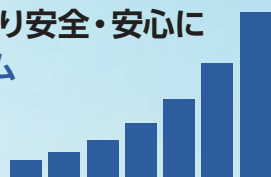
納入実績 **2,000,000** 戸以上  
(2024年現在)

「単管式排水システム CORE」は水回り環境の変化に合わせて、排水流量のパワフル化や本体のコンパクト化、長寿命化などを図ってまいりました。

発売から 50年が経った今も、高い排水性能と豊富なラインナップで皆様の快適な水のある暮らしを支えています。

### 住宅の延焼を減らし、より安全・安心に モエナイン排水システム

**10** 年 連続出荷増



延焼防止材により、接続部で配管内を完全に閉塞し、上階への炎や煙、熱の侵入を防ぐ「モエナイン排水システム」。防火区画から1m以内の横枝管に、塩ビ管の配管が可能になるなどの施工性能が評判を呼び、発売以来右肩上がりの出荷実績を誇っています。

### 排水性能の向上とコンパクト化を両立 HP/HQジョイント

首都圏における  
超高層マンションのシェア率

**50** %

1990年代からのマンション超高層化に対応するべく、排水流量のパワフル化を実現した「HPジョイント」。その進化系でさらなるコンパクト化を極めた「HQジョイント」。超高層の建物に焦点を当てたこれらのジョイントは、建築業界や排水業界から常に高い評価を得ています。





## 共同研究・開発を積極的に推進

小島製作所では、これまでに業種・業態の垣根を越えて多くの企業とコラボレーションし、様々な問題・課題を解決してきました。

“少数精鋭の技術集団”ならではの柔軟な開発体制が、パートナー企業との間で新たな相乗効果を生み、常識を覆すユニークな商品を社会に送り続けています。

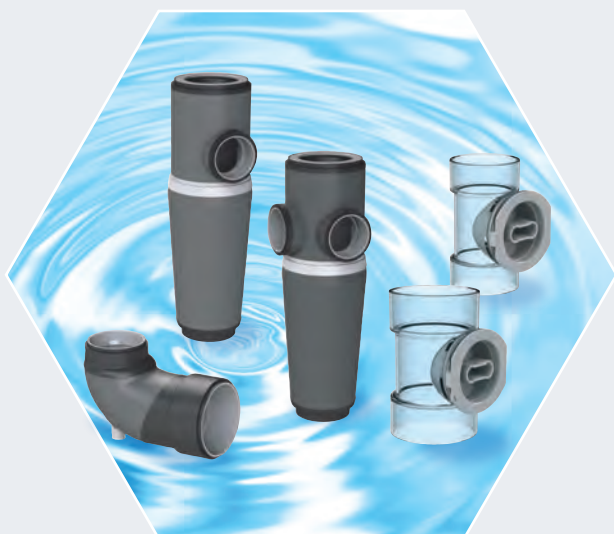
発明表彰

15<sup>(2009→2024 現在)</sup>年連続受賞

特許取得数  
合計

90件



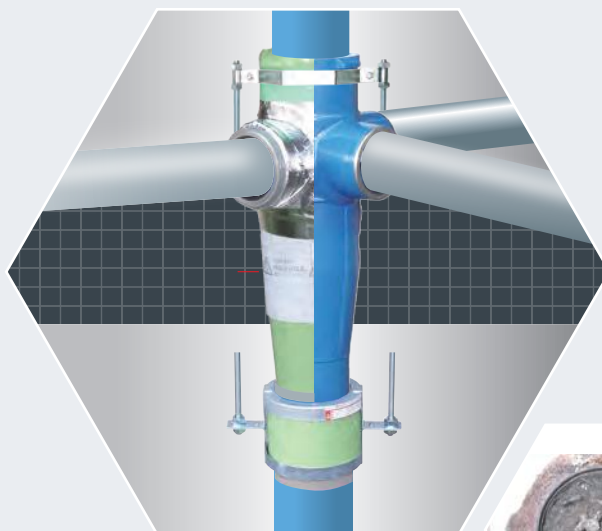


## 新素材・技術・知識の融合で 新しいフィールドを拓く

### 樹脂製単管式排水システム ビニコア

下水道関係の樹脂製品トップメーカーである前澤化成工業(株)との業務提携により、樹脂製単管式排水システム ビニコアを開発。小島製作所の排水システムのノウハウと前澤化成工業の樹脂成型のノウハウの融合により、排水性能はもとより遮音性、施工性、耐衝撃性、耐腐食性等に優れた商品として排水業界でシェアを拡大しています。樹脂への本格参入という、小島にとっては次の100年に向けてのターニングポイントとなった商品でもあります。

🏆【発明奨励賞受賞／国土交通大臣認定／消防安全センター評価取得】



## 安心・安全性能を高めて 暮らしを守りたい

### モエナイン排水システム

防音排水管メーカーのシーシーアイ(株)とのコラボレーションにより生まれた、延焼防止材付き中・高層用通気継手です。火災が発生すると熱膨張材が膨張し、接続部で配管内を完全に閉塞することで上階への炎、煙、熱の侵入を防ぎます。これにより防火区画から1メートル以内の横枝管に、塩ビ管配管が可能となりました。

🏆【発明奨励賞受賞／国土交通大臣認定／消防安全センター評価取得】

火災時に延焼防止材が管路を閉塞。  
上階への熱や炎・煙の侵入を防ぎます。



課題はチャンス！  
一緒に  
挑戦を始める

### ステンレス製排水金具 P-trap COM (ピートラコム)

2005年、排水金具・マンホールなどの鋳物需要が減っていく中で、生産効率アップを目的に(株)長谷川鋳工所との協業化を実現。2008年にはP-trap COMブランドにてステンレス製排水金物の製造に着手し、キズが付きにくい、腐食しにくい等のステンレス特性を活かして、排水金具の新しいスタンダードを築きあげています。

現場の声から  
必要性を察知、  
現在も進化中



### 満空キット

鉄建建設(株)との共同研究により生まれたのが満空キットです。施工現場で実際に起こったトイレの排水管からの漏水をきっかけに、従来までの満水試験より低コスト・時短で行える試験方法として、空気圧で排水系統の漏れ検査を行う満空試験治具を開発・提案。共同で特許出願するとともに商品化を実現しました。

### スマホでデータ管理できる満空アプリも開発中

現在は電子式満空試験機として漏洩試験を自動化・データ化。さらにスマホによるデータ管理アプリの開発も行なうなど、漏洩試験工程のさらなる簡便化を進めています。



排水継手を改修時の  
困りものにはしない！  
更新ストレスの解消  
を実現



### JUST 工法 スリム継手

排水管更新工事に起こる騒音、振動、粉塵といった問題を解決するために、共同で開発したジャッキアップスリム短管工法。床スラブをハツラずに新しい排水管に交換できる、「工期中のストレス」を大幅に抑えた画期的な工法として、多くの集合住宅の改修現場で採用されています。

🏆【発明奨励賞受賞】



## 9階建ての実験タワーは 業界をリードする 開発・技術力の要。

業界に先駆けて建設した排水実験タワー。  
排水流量はもちろん、  
管内圧力や旋回流の動き、排水音、振動など  
あらゆるデータを数値化し、  
製品の開発・改良やトラブル要因の  
解析・解決につなげています。





## 実際の使用環境を再現、排水音、振動のリアルな計測が可能

本社の建物に併設した実験タワーで、コンクリートの床を貫通した排水用特殊継手による、他社には真似のできないリアルな排水音実験\*をおこなっています。また、名城大学建築学科との共同研究で、管内圧力と排水音を同期入力した実験や音の見える化など、新しい研究にも着手しています。

※排水音測定室は2018年に三井住友建設機技術研究所の監修によって施工されました。



## 排水管の中まで排水の流れを見える化

実験タワーの排水立て管、横枝管および横主管を透明管にし、管内の流れや通気の様子を見える化した排水実験をおこなっています。

近年は、最下階の排水を立て管合流する現場が増加しており、最下階排水横枝管芯と横主管芯との垂直距離や脚部継手から曲がりまでの距離を変えた検証実験をおこなっています。

## 排水実験タワー概要

タワーの高さ：地上 27m 9 階建て

階高：2750mm

立て管本数：3 本

定流量負荷装置：高置水槽／加圧方式

横枝管からの最大負荷流量：定流量 0.5～3.0

設置器具：大便器・代用洗濯機（リモート排水）

圧力計：無線微差圧計

風速計：熱線風速計



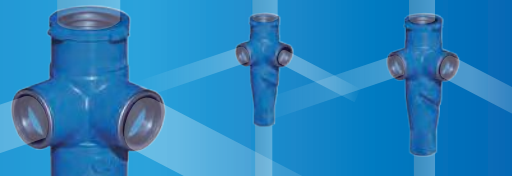
## 様々なテーマで共同研究を実施、論文も数多く発表

大学やゼネコンとの共同研究も盛んにおこなわれています。共同研究の成果は、空調・衛生工学会や日本建築学会に論文を発表したり、特許を出願しています。



## 来客実験や見学ツアーも随時対応

お客様のご依頼を受け、様々な配管や実験条件で実験を実施しております。



品質検査・配送拠点

広さ8,000m<sup>2</sup>、Kojima物流センター。

主力製品であるジョイントからモエナイン、ビニコア等の組立から検査、配送までを行う Kojima物流センター。

シュリンクマシンや漏れ検査装置などの最新設備を導入し、  
スピードとクオリティを追求しています。



## 多様なニーズに対応した生産体制

CORE排水システムでは、お客様のニーズに合わせた多種多様な商品群を用意しています。特に、耐火・防音・防振に対応したモエナインは、工場で一体成形して出荷しています。お客様より注文を受けてから、早く、確実に提供できるよう、フレキシブルな生産体制を整えて対応致します。



## 全数漏れ検査を実施

CORE通気継手は鋳物でできています。製造過程で発生する鋳造欠陥を見逃さないために、全数漏れ検査を行ったうえで出荷しています。現在、施工現場では配管後に満空試験が行われていることを受けて、一部製品は満空式の検査を実施しています。

## Kojima 物流センター概要

敷地面積 8,000m<sup>2</sup>

床面積 4,300m<sup>2</sup>



## 保管、配送管理

供給先より納入された部品は、厳しい目を通して検品し、管理された状態で保管します。また、組立・梱包された製品は運送便によって、全国各地へ約束された期日にお届け致します。





## Kojima SDGsアクション

私たち小島製作所は、生活インフラの一つである建築設備用排水器材の製造販売を通じて広く社会の水回り環境をサポートしながら、持続可能な社会の実現に貢献します。

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



### 健康的で安心、安全な生活をサポート

私たちが製造販売する建築設備用排水器材は、有害な下水ガスや伝染病の媒体となる衛生害虫、ウィルス等から人々を守り、健康的で安心、安全な生活をサポートしています。



### 循環型社会の実現や代替技術の開発

排水性能実験では大量の水を使います。それらの水は循環装置を使って再利用しています。また、水の代わりに空気を使う漏れ検査機も開発し、さらなる環境負荷の低減を進めています。

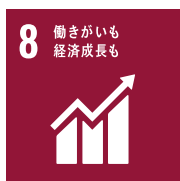
生産終了品や排水管更新時に出る古い鋳物製品は廃棄せず、炉で溶かして新たな製品へと生まれ変わること、循環型社会の実現に取り組んでいます。



#### SDGs とは

SDGs (Sustainable Development Goals : 持続可能な開発目標) は、「誰一人取り残さない (leave no one behind)」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標です。2015 年の国連サミットにおいて全ての加盟国が合意した「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」の中で掲げられました。2030 年を達成年限とし、17 のゴールと 169 のターゲットから構成されています。

※外務省 SDGs ホームページより



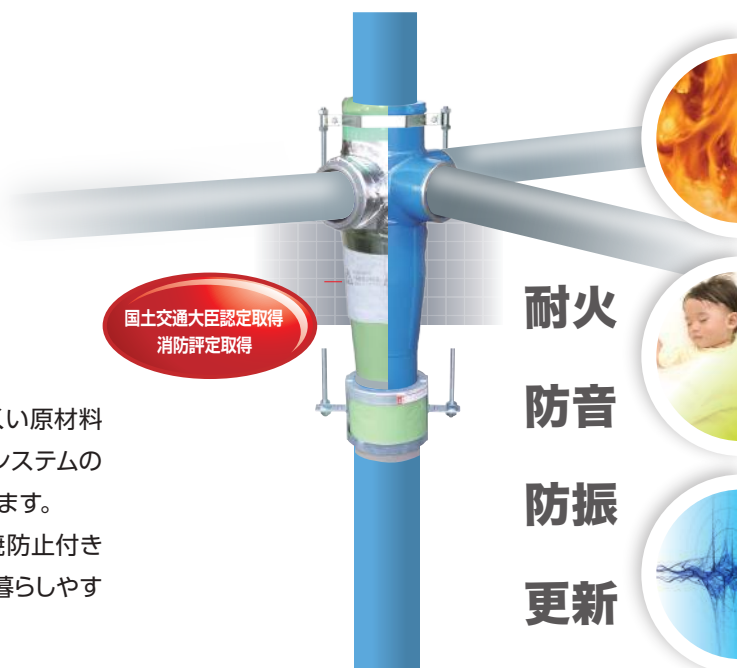
## ワークライフバランスを推進、働きやすい職場環境を整備

樹脂製排水システムービニコアやDAT継手の生産を担っている女性従業員の労働環境を整備し、女性が活躍する社会の実現に取り組んでいます。事業の生産性を高めつつ、福利厚生や教育・研修制度の充実を図り、従事者がいきいきと働きがいのある会社であり続けます。



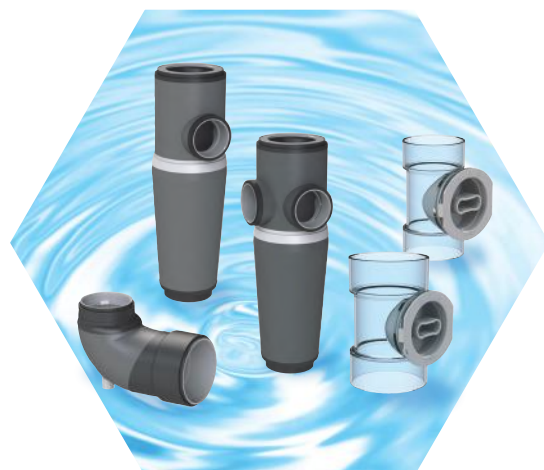
## 住み続けられる街づくり、災害に強い住まいづくり

製品製造において触手による全数検査の実施や劣化しにくい原材料を使用することで、安全・高品質を追求するとともに排水システムの長寿命化を図り、長く住み続けられる街づくりに貢献しています。集合住宅での火災時に炎や煙、熱を上階に漏らさない延焼防止付き排水システム-モエナインの普及を進め、全ての人が安全で暮らしやすく、災害に強い住まいづくりを推進しています。



## 持続可能な社会の実現に応えるユニークな製品開発

業種・業態の垣根を越えて、得意分野が異なるメーカーとアライアンスを組み、それぞれのノウハウを活用して共同で新製品の研究、開発、販売支援を行っています。





水とくらしのグッド・パートナー

株式  
会社

**小島製作所**

E-mail [kojima@kojima-core.co.jp](mailto:kojima@kojima-core.co.jp)  
<https://www.kojima-core.co.jp>

本 社 〒454-0027 名古屋市中川区広川町5丁目1番地  
TEL.052-361-6551(代) FAX.052-361-6556

首 都 圏 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町7-17朝日ビル4階  
コアセンター TEL.03-5652-6356 FAX.03-5652-6355  
MCC E-mail [mcc@kojima-core.co.jp](mailto:mcc@kojima-core.co.jp)

Kojima 〒511-0923 三重県桑名市桑部1056-5  
物流センター TEL.0594-27-6771 FAX.0594-27-6772

